

NOMA テーマ別研修 モデルプログラム例)

研修モデル プログラム名	職場の業務改善研修モデルプログラム
研修のねらい (到達目標)	業務改善手法の習得だけでなく、実際の職場において問題点を見える化し、具体的に改善を進めて行くための考え方を習得します。
研修期間	標準：1日
有効対象	中堅～管理職、改善提案推進者
研修ポイント	見える化や5Sなどの改善手法は、従来製造部門を中心に取られてきましたが、昨今は事務部門、営業部門など、さまざまな職種に取り入れられ、拡大しつつあります。 この研修では、参加者自身の身近にあるムダを見つけることから始めます。演習を交えながら、職場実態に即して業務改善をすすめるためのポイントを理解していただきます。
モデルプログラム事例	
1 日 目	
<p>1. 業務改善とは 業務改善とは何をすることなのか／業務改善の考え方／業務改善の目的 ＜演習＞業務改善の目的を整理してみよう</p> <p>2. ムダの理解と発見 業務におけるムダとは／ムダを見つける方法／ムラとムリをなくす ＜演習＞自職場のムダを見つけてみよう</p> <p>3. 業務改善の進め方 業務改善の手順／問題の真因をつかむには／マニュアルの作り方 ＜演習＞業務の問題点と改善策を考えてみよう</p> <p>4. 見える化の推進 見える化の意味と重要性／見える化実践のポイント</p> <p>5. 5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の推進 5Sの意味と重要性／5S実践のポイント</p> <p>6. 業務改善の職場での展開 業務改善を職場へ定着させるには／業務改善を通じて人材育成する</p> <p>7. まとめと質疑</p>	

上記はあくまでモデルプログラムです。

実施の内容は可能な内容であれば、ご要望に応じてカスタマイズができます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

一般社団法人日本経営協会 東京本部

経営開発グループ

TEL 03-3403-1716

FAX 03-3403-8417

E-Mail tiso@noma.or.jp